

2024年度食育計画

園の方針	1、食べることに意欲的な子どもに育てる 2、空腹を感じる子ども、食事をすることを楽しみ得る子どもに育てる 3、食事をすることに感謝の気持ち育てる 4、人と一緒に食事をすることの楽しさを感じられる子どもに育てる 5、子どもの状況に応じ食事に対する配慮をする。 6、保育者は「快」の気持ちを尊重した言葉かける。 7、生きていることが食育。全職員毎日が食育を心に留めた保育をする。 <新型コロナウイルス感染症5類に移行になるにあたって> 食事のバージョンを取り直し、従来通り職員も子どもと一緒に食事をするようにしていくようにし、食事の楽しさを伝えられる時間となるようにする。		通年通して取り組んでいくこと ・お腹のすく子になるよう、保育と連携する。 ・毎日献立を読み上げ、1品ごとに名前があることを知る。 ・除去食児への年齢にあった配慮が園児同士でも行えるようにする。 ・完食できることを喜び、おかわりをするを楽しむことができる。 ・年齢に合わせた食事のマナーを身につけるための指導 ・メニューによって、食器の置き方が変わること気づくことができる。 ・挨拶は一言にならず、1人ひとりの対応を怠らないようにする。 ・行事食を提供。 手洗い・歯磨き指導。旬を意識した食事の提供。 ・ひらがなの献立表を各クラスに掲示する。		栄養士の働きかけ ・給食献立表を食材色分けをして表示をするようする。 ・給食献立表に各日の栄養価を記載する。・給食レシポの配布 ・行事食を提供することで、日本の文化を知り、行事に関連する食事があることを知る。(旬の食材) ・給食室前に食育につながるポスターの掲示及び、食育クイズを作成し掲示する。 ・園児と食事を共にすることで現状を把握し、保育教諭と連携しながら、食育をすすめる。 ・食育マットを利用し、食を3つの食品群に色分けして毎日掲示し、食材がより身近に感じられるようにする。 ・給食参観のアンケート配布、年に1回、嗜好調査を行い保護者の意見を給食に反映させる。	給食参観への取り組み ・新型コロナウイルス感染症も5類へと移行するため、以前おこなっていた給食参観を行うようにする。ただし、5類に以降したばかりであり、感染拡大の懸念もあるため、ゆり組のみ、給食の試食を可能とし、ひつじ組・みどり組は、参観のみとさせていただきます。(給食参観への参加の有無は保護者に選択してもらえよう計画を立てる。)							
	ゆり組(5歳児)	ひつじ組(4歳児)	みどり組(3歳児)	ぶどう組(1・2歳児)									
ねらい	①食事の大切さを知り、生活の営みがわかる ②仲間と楽しくゆったり食べ、情緒の安定した生活を送る ③食べ物と体の関係に関心を持ち、健康的な生活をする。 ④正しい食事のマナーを身につける(挨拶・姿勢・食器の持ち方・置き方・共食のマナー・清潔を保つ) ⑤当番活動を通して、自分たちでできることはする。 ⑥栽培活動を通して、命の大切さや感謝の気持ちをもつ	①みんなと一緒に楽しく、ゆったりと食事をする。 ②子ども一人ひとりの食事行動を自立させ、情緒の安定を図る ③社会食べへ移行を徐々に開始し、基本的な生活習慣やマナーを身につけはじめる。 ④いろいろな食材に出会い、興味を持ち楽しみや味覚の幅をひろげる ⑤苦手な食材も、一口は食べられるようになる。 ⑥箸で様々な食材を食べられるようになる。	①給食に親しみ、保育者や友達と一緒に食べる楽しさを味わう ②自分の食べ方を知り、基本的な生活習慣として定着させる ③食事のマナーや食べるための技術的機能力を身に着ける。(よく噛む・座って食事をする・箸を使用する・後片付けができる) ④一緒に食べる人を不快な思いさせないマナーがあることを知り友達と楽しく食事をすることができるようになる。 ⑤食を通じて、感動することを体験させる	①給食に親しみ、保育者や友達と一緒に食べる楽しさを味わう ②色々な食品や調理形態に慣れ、食具を使ってなんでも食べる。 ③食事の仕方が分かり、自分でしようとする。 ④変化化する食材の大きさを伝える(調理法によっての変化) ⑤スプーン・フォークが鉛筆にぎりができる。 ※通年通して、豆を買いにいづくことで食材に興味を持つ。									
	<1学期のねらい> 新しい環境での、食事の準備や片付けの流れが身につく。 ・歯の生え変わり時期でもあるので、歯の大切さを知り、歯みがきの重要性を再確認する。歯みがきを丁寧に進んで行う ・夏野菜の栽培を通して、生長過程に興味を持ち、日々観察や世話を する。生長に気づき実った野菜を喜んで収穫し、感謝していただく。 栽培を通して、苦手な野菜も進んで食べようとする。	<1学期のねらい> 新しい環境での、食事の準備や片付けの流れが身につく。 スプーンやフォークではなく、箸で食事ができるように、個々に合わせて声をかけていくようにする。 遊び食べをしないように、時間を決めるなどして、子どもの負担にならないように配慮していく。 手洗いの大切さが身につく。手洗いは様々な所に触らないようにする ことができる ・歯磨きの大切さをしり、進んで歯みがきできるようになる。 ・年長児が育てている夏野菜に興味を持ち、どのような調理方法が良いか保育者と考えられるようになる。年中児独自で、夏野菜を栽培し、各家庭も持ち帰る計画をしても良い。	友達と一緒に楽しく食べる。 好きなものをお腹いっぱい食べる。食べられない物は減らす。自分で減らすことを伝えられないうちはその都度保育者が声をかけるようにする。 苦手なものも少量ずつチャレンジしていく。 スプーンやフォークの正しい持ち方を再確認すると共に自立を目指す。 手をきれいに洗う習慣が身につく。 食事後に歯を磨く事を覚えて、歯磨きすることができる。 口内の使い方を体験を通して学ぶ。(前歯でかじり、奥歯で噛む。 噛はする。種だけ、口から出す等) 歯みがきを自分で行う。仕上げ磨きは保育者が行い、丁寧に磨くことの大切さに気づく。ぶくぶくがいができるようになる。 ・年長児が育てている夏野菜に興味を持ち、見たり食べたりする。 ・プランターで植物を栽培し、生長を楽しむ(枝豆の栽培)	・安心した雰囲気の中で食事ができるように、食事の環境に変化をもたせないようにする。 ・子どもの気持ちを受け止め、少量から始める (摂取量・好み・かでの食事の状況の把握) ・野菜の苦みが敏感な時期であること理解し、調理形態や食材の大きさ等工夫する。(スプーンにの大きさ) ・スプーンやフォークの正しい持ち方を知りながら、食事をする。 ・保育者と一緒に食前手洗いや食後に口の周りを拭くことができる。 ・保育者と一緒に歯みがきをする。仕上げ磨きをしてもらうことで、口の中が、さっぱりと清潔になったことを感じる。 ・年長児が育てている夏野菜に興味を持ち、見たり食べたりする。									
1学期	<2学期のねらい> ・食事中一緒に食べる人が不快にならないように意識することができるようになる。 ・夏野菜の後始末を通して、土の中に住んでいる害虫がいることを知る。 ・芋ほりを通して、つるやマルチの片付けを通し、栽培の大変さを感じ、収穫できることをより感謝することができる。 ・衛生管理を再確認すると共に、調理をすることにより、正しい調理器具の使い方を学ぶ。 お弁当を食べるときのマナーが身につく。片付けも自分でできる。	<2学期のねらい> メニューによって食器の置き方に違いがあることを知り、興味を持つ ・食事中に不適切な言葉を使用しないようにすることを意識できるようになる。 ・チューリップの球根を植える。来年の野菜作りの前段階として大切育てることを学ぶ。 ・自分で掘ったサツマイモが、様々な形で調理されることを知り、喜んで食べる。 餅つきを通して、餅が変化していく様をしり、また日本の伝統文化であることを学ぶ。 お弁当を食べるときのマナーを意識して食べることができる。片付けも保育者の手助けのもと自分でできるようになる。	<2学期のねらい> トレイ配膳から、ランチョンマットへ移行し、食器を置く場所が決まっていることを知る 箸へと移行していく。スプーンやフォークを取り入れながら、個々に合わせてすすめていく。(目安10月～)ランチョンマットの片付け方も知り、身につくようになる。 ・正しい姿勢を意識し、食器をもって、こぼさないように食べようとする。 9～10月イチゴの苗植えを行い、栽培し、成長を楽しむ。 ・収穫感謝祭とおして、秋の果物を知り味わう。季節によって実りが違うことを感じる。 ・自分で掘ったサツマイモが、調理され給食で食べられることに驚き、喜んで食べる。 餅つきがあることを知り、自分でもちをついたり食べたりすることを楽しむ。 お弁当の日を楽しみにし、喜んで食べる。 お弁当を食べるときのマナーを知る。	<2学期のねらい> 自分にあつた量を残さず食べる 苦手なものは少なく盛り付け、意欲を引き出す。 給食をつくらせてくれる給食職員の存在を知る。 芋堀りと、給食の献立が結びつくように話をし、収穫を喜ぶ。 餅つきがあることを知る。 お弁当の日を楽しみにし、喜んで食べる。									
	<3学期のねらい> 小学校の給食の献立の掲示等を行うことにより興味や期待をもつ また、給食の時間も異なるため、給食の時間帯等を意識できるようになる リクエスト献立を考える。3つの食品群を意識して献立を考えることができる。 レストランごっこを通して、下調べ等を行い役割分担を意識しながらごっこ遊びを楽しむことができる。 在園児へとジャガイモの栽培のプレゼントをする。 次年度に向けて、食事のマナー等を再確認をする。	<3学期のねらい> 食器を自分でメニューに合わせておくことができる。 ・チューリップの水やり等をし、花が咲くのを楽しみに待つ。 次年度に向けて、食事のマナー等を再確認をする。	<3学期のねらい> 配膳されるのを、席に座って待つことができる。 ・食事の前に、トイレをすまし、食事中にはトイレにいかないように意識することができるようになる。どうしても行きたい時には、小さい声で保育者に伝える事ができるようになる。 ・食事中に不適切な言葉があることを知る。 次年度に向けて、食事のマナー等を再確認をする。	<3学期のねらい> 食事のエプロンを使用しなくても、食事をすることができるようになる。 食後の片付けをする 友達や大人と一緒においしく食べる 歯みがきする習慣が身につく。 食後の挨拶ができるようになる。 次年度に向けて、食事のマナー等を再確認をする。									
給食献立とクッキング	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	ゆり組給食	参観開始(4・5月)	●虫歯予防デー献立 噛み噛み献立 ●収穫したジャガイモを使用した献立 <その他> ・嗜好調査	●ゆり組お泊り保育 リクエストメニュー ●ひつじ組お楽しみ保育 リクエストメニュー ●収穫した夏野菜を使用した給食献立 ●七夕献立	●熱中症対策と、食材	●非常食の試食 アルファ米の調理 非常食を使用した献立 ・みどり組給食参観開始(2学期中)	●お月見献立 ●芋ほり遠足(弁当の日) サツマイモを使用した献立	●収穫感謝祭 ・サツマイモ汁作り ・おにぎり作り	●クリスマス献立 ●お歳とり献立 ●冬至献立	●七草献立 ●風邪予防献立 ●色々な国のメニュー(世界の料理) ・ひつじ組給食参観開始(3学期中)	●部分 ●豆料理 ●色々な園のメニュー(世界の料理)	●ひな祭り献立 ●ゆり組リクエスト給食	●ジャガイモの種付け
栽培	★夏野菜の苗植え(年長) ★花植え(年中)	★サツマイモの苗つけ ★ジャガイモの収穫(みどり・ぶどう) ★枝豆種まきと栽培(みどり組)	★夏野菜の収穫 ★イチゴの苗植え ★枝豆の収穫と大豆作り(みどり組)				★チューリップの球根植え ★大豆の収穫			焚火でのポップコーン作り・マシュマロ作り			
活動		●歯科検診 歯磨き指導強化月間	●夏祭りごっこ (ジュース・かき氷・焼きそば)				給食でお世話になっているお店へかける。					●年長児とお別れ給食 ●年長児の献立アナウンス(リクエストメニュー)	
留意点		※ジャガイモ堀りは、給食で使用できる芋と、持ち帰り用にわけようにする。持ち帰る事で、家庭で調理してもらい、収穫の喜びを共有できるようにする。				※イチゴの苗植えは、10月まで行わないと、冬の寒さで全て枯れてしまう。イチゴの苗の販売期間は9月～10月。	※チューリップの球根植えは10月中に行う。球根の販売期間が限られているため注意する。 ランチョンマット使用後は、たたみ巾着袋の中に入れ、ランドセルにしまうことまで指導を行う。						

※パンの日は、パンだけで食べる日と、パンに調理したものを挟んで食べる日等を設け、パンの食べ方も指導をしていくようにする。